



介護ベッド用手すりによる事故防止対策
介護ベッド用手すりによる事故は平成24年度には4件の死亡事故が発生し、消費者庁に報告されています。過去5年間では32件になり、重傷事故を含めると63件になります。介護ベッド用手すり（サイドレールなど）による死亡事故の多くは、2本並べて設置した手すりと手すりの間のすき間や、手すりとベッドボード（頭側板）とのすき間に、利用者が首を挟み死亡に至るものです。また、手すり



杵築市 ひまわり 検索

<http://www.wel-himawari.net>

社会福祉法人ひまわり
広報部発行
TEL0978-52-2233
FAX0978-52-2234

自体に腕や足などを差し込んで骨折するなどの重傷事故も発生しています。特別養護老人ホーム瑞雲荘にも56台の介護用ベッドがあり、そのうち事故対策を行っている新しい規格のベッドが25台（写真上）残りの旧規格のベッドへは下の写真の様に手すり間の隙間を埋める等の対策を行っています。

第一種衛生管理者国家試験
社会福祉法人ひまわりでは資格取得に向けた合同勉強会を初め、職員の資格取得に向けた様々な取り組みを行っています。今年10月には第一種衛生管理者国家試験に3名の職員が合格しました。今年度は介護福祉士、社会福祉士、管理栄養士の国家試験が年明けに控えています。資格取得することで専門職としての技能向上を図り利用者

様へ、より良いサービスが行えるように精進したいと思えます。

平成24年度介護職員によるたん吸引等実施の研修会参加
平成23年6月の「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正により平成24年4月から、介護職員によるたん吸引等の医行為が実施できることとなりました。たん吸引等の医行為を行うためには研修を受け登録を行う必要があります。11/16より、ひまわりホームヘルパーステーションより西一美職員が、特別養護老人ホーム瑞雲荘より野上正章職員が研修に参加しております。今後在宅でも施設でも医療依存度の高い利用者様が増えていくと予想されます。介護職員でたん吸引等の医行為を実施しなければならぬ事も増えていくでしょう。そういった事が背景にあり平成28年度以降に介護福祉士試験に合格した者は研修を受けずにたん吸引等の医行為が行えます。時代

のニーズにお答えできるように我々もより高いレベルでサービス提供が行えるように加算算定について

特別養護老人ホーム瑞雲荘
特別養護老人ホーム瑞雲荘では平成25年1月より「経口維持加算（一）」と「看取り介護加算」を算定する予定となっており、「経口維持加算」とは摂食機能障害を持つ入所者に対して、他職種が共同して経口維持計画を作成し対応した場合に加算請求ができるというものです。また、「看取り介護加算」とは医師が医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者に対し利用者又は家族の同意を得て、利用者の介護に係る計画を作成し看取り介護を行う場合に加算請求ができるというものです。何卒ご理解とご協力ほど宜しくお願いいたします。



訪問看護通信

きつき訪問看護ステーション

ご存じですか？低温やけど
冬になると電気こたつなどは必要不可欠だと思えます。直接肌に密着した状態が長時間続くと、やけどをする可能性があります。これが「低温やけど」と呼ばれる症状です。自分で動きにくい新生児・乳幼児、体の不自由な方、血液の循環が良くない肥満者や糖尿病の方は特に要注意です。
やけどを起こす場所は圧倒的に下半身が多く、かかとやくるぶし、すねなどは皮膚のすぐ下に骨があるため湯たんぼなどが押し付けられていると毛細血管が圧迫されて血流が悪くなります。熱の逃げ場がなくなり、時間をかけてじわじわと皮膚の内部まで深く広がり、ダメージを与えて行きます。45 前後の心地よい温かさでも、その熱源が直接皮膚に触れていると44 で6時間以上、45 で3時間以上、46 で1時間30分以上というように51 まで温度が上がることに低温やけどになる時間は半分に短縮されます。布を使い伝わる熱を減らすと同じ部位に長時間使わない 絶対に就寝時に使わない 違和感を感じたら使用を中止する。
以上の注意ポイントを押さえて暖房器具を使いましょう。

11月に入り朝晩の冷え込みが一層厳しくなりましたね。皆様、インフルエンザなどの感染症や風邪には十分ご注意ください。今回は休日に出会った御婦人との会話について感じたことを書かせて頂きます。近所のコインランドリーにて乾燥を終え、洗濯物をたたんでいると、目の前に座っている御婦人より声を掛けられました。「若いのに綺麗に畳んでえらいわね。」「有難うございます。」「それだけで会話は終わったのですが、洗濯物をたたみながら少し誇らしい気持ちや褒められたことを誰に話そうかなと考えている自分がありました。御婦人がかけてくれた何気ない一言で明るい気持ちになれたのです。毎日お会いする利用者様には出会った時に挨拶をするように心掛けています。しかし、挨拶だけで済ませるのではなく、一言を添えるだけで、利用者様が過ごす一日が変わるのかもしれないと思えました。挨拶の後に「今日も顔色が良いですね。」「や」「調子はどうですか？」と添えるだけで明るい気持ちや安心感が得られるのではないのでしょうか。利用者様に限らずに職員間や家族や友人でも同じことが言えると思います。反対に一言で相手を傷つけたり、暗い一日にしてしまうことを忘れてはいけません。当たり前のようなことです。意識してないといけないことですね。大切なことに気づかせたい頂いた御婦人に御礼の会釈をし、コインランドリーをあとにしました。

佐藤

生活相談員日記

編集後記
こんばんわ、寒くなりました。この季節に飲むビールも大好きです。取り敢えずこのページ一番上の「訪問看護通信」にある「ご存知ですか？低温やけど」って文字を見て、「ご存知ですか？低温やけど（だけど）」と読み違えてしまいました。日本語って難しいですね。さて、以前この「編集後記」でも紹介したのですが、やさんに、にんにく卵黄の無料お試しセットを注文したところ、毎日の様に私のパソコンにメールが届くようになってきました。恐らく正式に注文するまで来るのでしょうか。そのにんにく卵黄の効果についてはここでは触れませんが、私が正式に注文しない理由として、もし正式に注文をしてしまうと、もうメールをいただけられないのでは？と危惧しているからです。それくらい、やさんからのメールは私を励ましてくれます。一日の仕事が終わったり帰ったりパソコンの電源を入れメールを確認すると「高尾様、お元気でしょうか？」「やいませか？」「高尾様、疲れは溜まっていますか？」「私を毎日のように癒してくれるのです。嫁さんと喧嘩した日も、仕事がうまくいかなかった日も、風邪をひいて寝込んだ日も、やさんは私の支えになってくれました。そしてついに、やさんの社長自ら私宛にメールを頂きました。内容はこうです。「朝食を食べた方がいいのはわかっていても、忙しくて食べる時間がない」「なかなか着が進まない」「高尾様一さまもそんな経験があるのではないのでしょうか。日々の健康のため、そして、一日のエネルギー源として大切な役割を果たしている朝食。朝食は毎日欠かさず食べてほしい。一日の始まりには、質の良い朝食をとってほしい。それが、毎日の健康をお届けするや、の願いです。」「どうでしょうか？ん！あかの他人の心配をここまで出来る方が他にいないでしょうか？いや居ない！私はこのメールを見たときに確信しました！絶対に注文しない！こんなにありがたいメールがいただけるのであれば、それだけで心から健康になれると！次は社長からのメールでなく、是非会長様からのメールを心待ちにしていようと思えます。

高尾

毎月二〇日発行 編集責任者 社会福祉法人ひまわり 高尾毅一

瑞雲荘

どぶろく祭り宵宮参拝

10月16日に白髭神社で行われるどぶろく祭り宵宮に参拝してきました。五穀豊穡、無病息災を願って造られたどぶろくを振舞っていたいただき、利用者の皆様は大変喜ばれていました。酒は百薬の長と言われますが、利用者の皆様は健康管理の観点から普段飲酒をしておりませんが、この日だけは別です。久しぶりに飲まれるお酒に「おかわりをおくれ!」「もう一杯ください!」と皆様舌鼓を打たれていました。中には頬を赤らめている利用者も居られます。楽しい1日となりました。また来年も元気にお参りに来たいと思います。



誕生日会

11月5日に11月生まれの利用者様の誕生日会を開催し、安岐中央保育園の園児たちがお祝いにかけつけ、鼓笛の演奏や合奏を披露してくれました。園児たちの可愛らしい鼓笛に利用者の皆様は目を細め、「えらいな〜」と絶賛されていました。安岐中央保育園の園児のみんなありがとう!



きつきの里デイサービス

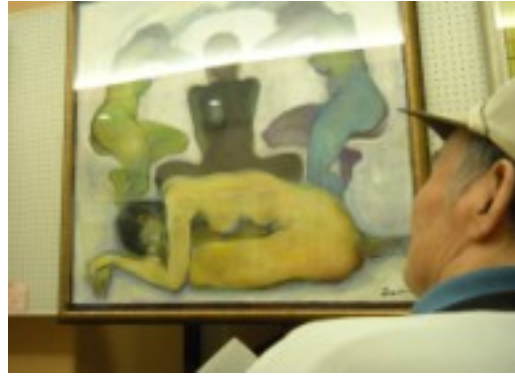
大運動会

運動の秋。きつきの里デイサービスでは大運動会が開催され、玉入れ、パン食い競争、運命競争を行いました。利用者様による選手宣誓を合図に玉入れから始まり、パン食い競争では皆様日頃のリハビリの成果を十分に発揮されてうまくパンを取ることができました。運命競争では封筒の中には変装や職員との2人3脚など様々な難題が入っており、利用者様、職員共々苦戦して行きました。最後に職員によるムカデ競争を行いました。勝ったチームも負けたチームもお互いの健闘をたたえあい最後はみなさんの大きな拍手で締めくくりました。



県美展見学

10月24日に杵築市文化体育館で行われた県美展を見学しました。利用者の皆様ゆつくりとした空間の中で見る絵に「この絵は写真みたいやなあ〜」「よお描けちよんなあ〜」と感心しきりでした。



小学生との交流会

10月17日に護江小学校の生徒さんとの交流会が行われ、運動会の際に発表された歌やダンスを利用者様の前で披露してくれました。子供達の元気な姿を見て利用者の皆様も元気をいただいたようでした。



三楽園デイサービス

紅葉狩り

秋も深まり寒さを肌で感じるこの季節、三楽園では両子寺へと紅葉狩りに出かけました。安岐の里では米の収穫を終えた田園が広がり向こうの山には沢山の黄色に色付いたみかんが実っております。民家の庭先にはサザンカや皇帝ダリヤが艶やかに咲いておりました。両子寺へ到着すると見事な紅葉で、沢山の行楽客で賑わっていました。三楽園の利用者様も、「今まで来た中で一番綺麗や〜!」と感激されながら境内一杯に咲く紅葉を眺められていました。帰りに立ち寄った河原茶屋では、家族にお土産を買い求められたり、皆様とても満足した表情で三楽園へと戻られました。



利用者様作品



手芸

今月はハンガーモップ作りを行いました。年末の大掃除に良いと参加される方が多く、皆様とても器用に毛糸やストッキング等をハンガーにつけられ、出来上がるのを楽しみに作られていました。

三楽園利用様絵手紙「猫」 荒木弘子様作



壁紙「柿」

